

# 渡邊友二さん（ピッコロモンドシェフ主人）

矢崎泰久の友達紀行⑦



メニューは毎日書き換えられる。手書きのA4サイズ。友二さんの決定を、妻のるみ子さんが綴る。前菜（Anti Pastti）15種類。パスタ（Primi Piatti）5種類。主菜（Secondi Piatti）3種類。これを見て注文する。

その日の食材から選択される逸品である。友二さんは調理場に誰も入れない。すべて一人でこなす。したがって客席数は限られている。水曜日から日曜日までの5日間が通常の営業日。祝日はオープンしている。主に予約だけで満席になる。のべつ断られる。

23年前に井の頭線の久我山駅前に初めて自分の店を持った。出発はイタリアン。次にフレンチ。手練れのシェフを訪ねて腕というか、味覚を10代から盗み歩いた。そして、35歳で独立。現在の吉祥寺に移ったのは7年前だ。

友人に連れられ、久我山のピッコロモンドを知った私は、美味しさに打たれたのだった。大きな秘密を獲得した喜びだった。すぐ友達じょうだんになった。私に取っては日本一の料理人である。友二57歳。そして私85歳。くたばるまで通いつめるしかあるまい。

## 写真 小山茜 Akane Koyama

1981年大分県生まれ  
写真家。国内外で幅広く活躍。  
2015年パリ・マドレーヌ寺院「恒久平和展」展示  
2016年「第10回モナコ・日本芸術祭2016」展示  
芸術創造賞受賞  
常識にとられない映像作家。  
多岐にわたる撮影活動を続けている。

## 文 矢崎泰久 Yasuhisa Yazaki

1933年東京生まれ  
新聞記者を経て1965年「話の特集」創刊  
現在はフリージャーナリスト作家。  
著書に「口きかん」（飛鳥新社）「話の特集」と仲間たち（新潮社）  
「あの人がいた」（街から舎）「句々快々」（本阿弥書店）  
「ハカまるだし」「ふたりの品格」（共に永六輔と共著・講談社）  
「人生は喜劇だ」（飛鳥新社）他多数。  
テレビ・映画・ステージのプロデューサーとして活躍。